

2019(R1)年度 学 校 評 価

学校法人信濃キリスト教学園
幼保連携型認定こども園
大町幼稚園

当幼稚園のホームページにて同学校評価を公表しています。HPアドレスは次の通りです。

<http://www.omachi-yochien.com>

2019（R1）年度 学校評価

2019年度「大町幼稚園 学校評価」を終えて

大町幼稚園では、学校教育法に基づいて園則に定めたとおり、昨年度（2019年度）の活動に関して学校評価を実施いたしました。ここにその結果を公表し、ご報告申し上げます。

評価に際しましては、その客観性を高めるために、まず保護者の皆さまを対象にアンケートを行い、それに「幼稚園運営」を加えて計10項目に教員が自己評価・点検をしたものをそれぞれ集計、分析し、学校関係者評価委員の方々に各項目に関して更に評価をしていただきました。

アンケートの結果、保護者の皆様および学校関係者評価委員の皆様には、本園の教育方針に対するご理解と厚い信頼を頂くことができましたことを心より感謝いたします。と同時に、温かい前向きなご意見も多々頂くことができました。多いに参考にさせて頂き、より一層質の高い教育・保育を目指してまいります。かけがえのない、神さまから頂いた大切な宝である子どもたちの成長のために、微力ながらも精一杯力を注いでまいります。また、今年度5月より新園舎に移転することとなり、安全で安心な建物で保育を行うことができます。多くの皆様のご理解とご支援にこの場をお借りして心より感謝申し上げます。

2020年4月

学校法人信濃キリスト教学園
幼保連携型認定こども園 大町幼稚園

園長 早川 民次

1 教育方針・教育目標の理解

◆2019年度の取り組み

- ・教育方針（いつくしみの保育）と教育目標（元気な体・優しい心・考える力）の理解を深め、保育内容に活かす。
- ・幼稚園は一人一人の子どもの発達・個性を把握し、年齢に応じた願いを持ちながら保育をしていると思いますか？ 保護者アンケート（Q2）

◆評価と分析

（教師の評価 4点満点中 平均点 2.6）

- ・教育目標の優しい心は、自分自身が優しく見守る体制で子どもに接することができた。
- ・こどもの成長に向き合いました、優しい心考える力を大切に過ごせた。
- ・子どもから学ぶことができた。
- ・考える力に関しては、もっとできることがあったと思う。
- ・教育方針の本質をもっと深く考えることができたと思う。

（保護者の評価 4点満点中 平均点 3.8）

- ・とてもよく見ていただき、安心して園生活を送れた。
- ・体の不自由な娘のために、手すりやいす、足湯を用意してくださり楽しく園生活を送ることができました。
- ・毎月各クラスの月主題を見ながら子どもの成長を楽しみにしています。
- ・担任・副担任に子どものことを見てくれて、それぞれに応じた願い・クラスの目的を持った遊び等を努力してくださっていることを感じ嬉しいです。
- ・私だけではわかりえない育児だっただけに、この面では大変助かっています。
個性的な子ですが、「らしさ」が伸びています。

（学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3.6 ）

- ・一人ひとりの子どものことを考え、子どもを急がず待ってくれる先生方の姿はいいと思う。
 - ・若い保育者が多い中、子どもたちと良く接している。
 - ・保護者からの評価が良いのは嬉しい。
 - ・子どもたちも先生方も優しい心で過ごせていますね。
-➤.....➤.....➤

◆改善の具体的方策

- ・教育目標について学びを深めていけるよう、キ保誌などを活用しながら学びを深めてゆくとともに、子どもが大好きな保育者であることを一番に大切にしていきたい。

2 キリスト教保育

◆2019年度の取り組み

- ・教師自身見えないものに目を注ぎ、「あたたかなまなざし」で子どもを受け入れるキリスト教保育の学びを深める。
- ・幼稚園はキリスト教保育を基盤とした教育方針を、分かりやすく伝えているか。(保護者アンケート(Q1))

◆評価と分析

(教師の評価 4点満点中 平均点 2.6)

- ・神様を意識しながら「信じること、愛されること」を子どもと感じ、伝えることができた。
- ・初めての集団生活を送る子どもの気持ちに自分なりに寄り添い受容することができた。
- ・平均的成長を大切にするのではなく一人ひとりを受け入れる心を、日々のキ保誌を読んだり、研修会や主任に教えてもらい学べた。
- ・職員会での聖書のお話や讃美歌を通してキリスト教について学ぶ時間が持ててよかった。

(保護者の評価 4点満点中 平均点 3.8)

- ・子どもなりにお礼拝などの時間を通して、神様のお話を聞き自分も愛されていることを知った。
- ・「人にやさしく」を大事にしている子どもたちだと感じます。
- ・思いやりを大切にすることがはぐくまれています。

(学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3.0)

- ・キリスト教保育の基本である、神様、イエス様の愛を自身の感じながら子どもたちによく伝えられていると思う。
- ・先生方にはもっと教会へ来てほしい。
- ・日々の礼拝や活動を通して、先生方皆に愛されている事や神様のことを知ることができて良いと思う。

.....>.....>.....>

◆改善の具体的方策

- ・各保育者のキリスト教保育に対する考えは少しずつ成長してきているが、礼拝や日曜学校、教会のお掃除を通し、さらなる学びを深めてゆきたい。

3 少人数保育

◆2019年度の取り組み

- A. 教師相互間の連携を密にし、協力体制を築きチーム保育をする。
- B. あたかなまなざしの保育を通して、子どもたちは安心感を抱き、愛されていると感じている。
- C. 幼稚園は遊びをとおして教師との信頼関係や友だちとのつながりに喜びを持てるような環境作りをする。(保護者アンケートQ3)

◆評価と分析

(教師の評価 4点満点中 平均点 A 2.72 B3.45)

- A・職員会やパート会議、朝礼のノートが情報の共有に役立っているが、連携不足と感じる部分もあった。
 - ・クラス内でトラブル等大切なことを共有する必要を再認識した。
 - ・副担任、補助が準備等をやりすぎるのはよくない。
- B・安心して表現したり、伝えていける環境を大切にしていきたい。
 - ・個性、個々のペースを大切にクラスで過ごせる環境を意識して作った。

(保護者の評価 B 4点満点中 平均点 3.8)

- C・教師と子どもとの間に信頼関係が築けていると思う。園でのことを笑顔で話してくれる。
 - ・自由に遊ぶ時間をもっと増やしてほしい。異年齢で遊ぶ時間も増やしてほしい。

(学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3.8)

- ・先生方一人ひとりが子どもの特性を知り、どのように対応すればよいか考えてくれるので助かる。
- ・大町幼稚園の特徴である少人数保育が保護者の評価がよく何よりです。
これからも子ども一人ひとりに寄り添う保育にしてください。
- ・子どもたち一人ひとりが大切にされていると同時に、先生方一人ひとりが大事にされますように。

.....>.....>.....>

◆改善の具体的方策

- A・未満児クラスは他のクラスと生活リズムが違い、教室も奥まっていることから、重点的に情報を共有できるよう対応する。
- B・好きに遊べる朝の時間を、異年齢の交流と遊び込む時間として有効に利用する。
 - ・学校関係者の「子どもたち一人ひとりが大切にされていると同時に、先生方一人ひとりが大事にされますように。」のアドレスのように、学びを深めていきたい。

4 戸外遊びの充実

◆2019年度の取り組み

- A. 戸外で友だちと思いっきり身体を動かして遊ぶことを通して、元気で丈夫な体作りをする。
- B. 楽しく充実した遊びを通して、一人ひとりの園児が主体的に活動し、創造力を養い、自分で判断したり、行動したりすることができるように育てる。

◆評価と分析

(教師の評価 4点満点中 平均点 A 3.1 B 2.7)

- A・健康的に伸びのびと遊ぶことで元気で丈夫な体作りにつながっていると思う。
 - ・体操やお散歩など、体を動かす活動を多く取り入れた。
 - ・外遊びを大切に、特に年少は外で思い切り遊ぶことを大切にした。
 - ・外遊びが大好きで、行事でできないときは、礼拝中のお祈りで、「明日は外で遊べますように」と出るくらい外遊びを大切にした。
- B・最低限の約束と環境を整えることで、子どもが安心して思い切り遊べた。
 - ・見守ることを大切にして、子ども自身の遊びを大切にした。
 - ・砂場で見立て遊びする姿には、主体性や創造力が養われると思う
 - ・縄跳びを頑張る姿は素晴らしいが、主体的・創造的という面で遊び込めたと思えない。
 - ・朝のバスが来るまで、外に出ないが待つ時間がもったいない

(保護者の評価 保護者の評価項目の対象外)

(学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3.2)

- ・外遊びが大好きな子どもたちが育っていて感謝ですね。のびのびと友だちと協力してチャレンジできる見守りがよいですね。お家の方に伝わっているようでよいですね。
- ・猛暑の関係からお散歩がなかなかできず残念でした。違うクラスの子とも遊ぶ機会があり良かった。
- ・いつも子どもたちが園庭でのびのびと楽しく遊ぶ姿を見て、とても良いと思う。危険回避が大変かと思うが、もう少しお散歩に行けるとよいですね。

.....>.....>.....>

◆改善の具体的方策

- ・どのクラスにおいても外遊び、散歩を増やしていく。
- ・新園舎ではバスを待たずに遊び始めることができる考える。
- ・「子どもが、主体的に楽しく遊びこむこと」とはどういうことを職員会で確認し、保育に活かしていく。
- ・2019年は大津市の園児が巻き込まれた交通事故があり、当園では農具川の土手や商店街などの遊歩道が確保されている車の少ない環境を探し、散歩を続けてきた。又、お散歩計画書も作成し、教職員が確認できる体制を整えた。次年度も引き続き安全を確保しながら、お散歩に行けるよう継続していく。

5 表現あそび

◆2019年度の取り組み

- A. 感じたことや考えたことを表現する豊かな感性を育む。
- B. 歌やリズム表現・製作活動などを通して、自分らしくのびのびと表現したり、友だちと合わせたりする喜びを味わえる環境作りをする。
- C. 幼稚園では歌やリズム表現・製作活動などを通して、子どもたちがのびのびと表現を楽しむ環境作りをしているか。(保護者アンケートQ4)

◆評価と分析

(教師の評価 4点満点中 平均点 A 2.9 B 3.0)

- A・リトミックを通して、歌い方・セリフ等のバリエーションが増えた。
 - ・歌を歌って、子どもたちの体が自然に動いたその瞬間を大切にし、振り付けに活かした。
 - ・一人ひとりの話を聞き、共感したり話す楽しさを味わえるようにした。
 - ・子どもたちが素直に感じた事や考えを大切にし、受け止めることができた。
- B・制作では、「こうしてみよう」ではなく、「どうしてみたい?」と声掛けをした。
 - ・一人ひとりが自分らしく表現できるように関わりを大切にした。
 - ・一年を通して、「ともだち」と合わせることを楽しむ経験ができた。
 - ・表現する楽しさ(個人・クラス)を子どもとともに感じる事ができた。
 - ・歌う事が日によって差があるので、自分自身の表現方法を見直していきたい。

(保護者の評価 B 4点満点中 平均点 3.9)

- C・友だち同士で教えあったりする雰囲気良かった。
 - ・それぞれ積極的に取り組めるよう工夫してくださっていると思います。
(子どもの希望でカブ役があった事など良かった。)
 - ・「これはだめ」と言われている感じがしない。家庭では難しいのでありがたい。
 - ・製作活動が苦手と思います。家でもできるアドバイスがほしいです。
 - ・つくづく感心します。指先が器用になったり、耳で聞く力がついています。

(学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3.4)

- ・毎月の誕生会や、クリスマス、思い出会などの発表では、子どもたちの生き生きした姿が見られ良かった。
- ・各クラスの発達にあった表現遊びを実施していると思う。

.....>.....>.....>

◆改善の具体的方策

- B・次年度は音楽に詳しい教師が入るため、アドバイスをもらいながら活動に活かしたい。
- C・保護者の方と細やかなコミュニケーションを大切にしながら家でもできる活動等のお話をしていきたい。

6 安全教育

◆2019年度の取り組み

- ・避難訓練、交通安全指導、健康安全指導を通して安全に対応する意識を高める。
- ・幼稚園は避難訓練や交通安全指導等を計画的に実施して、子どもの安全に対する意識を高めていると思いますか。（保護者アンケートQ5）

◆評価と分析

（教師の評価 4点満点中 平均点 3.0）

- ・避難訓練で、一人一つしかない大切な命を守ることを大切にできた。
- ・教師同士が話し合い、子どもたちが安全に避難できるよう試行錯誤してきた。
- ・訓練では、計画段階で子どもの動きを予想することができるようになってきた。
- ・日々の生活の中で遊びの環境に危険はないか？意識できるようになってきた。
- ・交通安全指導では保護者の方の自主的に参加している姿に感謝しかない。
- ・降園の際、年長が保護者を置いて一人で行ってしまうことがあったので、安全をもっと考えたい。
- ・健康安全指導の対応を再度確認すべきだ。

（保護者の評価 4点満点中 平均点 3.9）

- ・家で子どもが「命は一つだよ」そして、地震が起きたらどうするか？と聞くと分かっている。
- ・幼稚園以外での地震はどうしようと、家でも考えました。
- ・実生活でも実施できると感じます。
- ・我が子が、真剣に取り組む姿勢が感じられるし、安全に対する認識も高いと思います。
- ・交通安全について、春に指導があるだけなので、冬は忘れてしまい、意識が薄いと感じます。
- ・朝だけでなく帰りも交通安全指導実施しても良いのではないかな？

（学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3.6）

- ・常に教師・職員が子どもたちへの安全を配慮していた。
- ・大津の事故があってから、大町幼稚園での対応もしっかりと考えられていていいと思う。

.....>.....>.....>

◆改善の具体的方策

- ・降園時の交通安全指導も検討したい。まずは職員の中でできるときに行う。（特に秋から冬にかけて。）
- ・なお、保護者の皆さんの安全に対する認識を再度確認していただき、お子さまとしっかり手をつなぐなどの対応をお願いします。

7 食育

◆2019年度の取り組み

- A.食事のマナーを通して、左右の優位性、指先の発達、姿勢の保持など体の健全育成を図る。
- B.感謝する心・畑での栽培や収穫や調理員との関わりを通して、食に対する関心を持ち、感謝する心を育てていると思いますか。
- C.幼稚園は栄養バランスやカロリーを計算した自園給食を通して、何でも喜んで食べる子どもを育てていると思いますか。（保護者アンケートQ6）
- B.幼稚園は畑での栽培や収穫や調理員との関わりを通して、食に対する関心を持ち感謝する心を育てていると思いますか。（保護者アンケートQ7）

◆評価と分析

（教師の評価 4点満点中 平均点 A 3.1 B 2.4）

- A・感謝の気持ちを一番大切にした。食事中の姿勢の保持の難しい子の対応の仕方を学びたい。
- ・基本的食事のマナー、箸でつかむ、椅子の調整など、細かく目を配ることができた。
 - ・ほし組では子どもたちが配膳することで、こぼさないように慎重に歩き、置く姿がある。
 - ・給食を子どもたちが大好きで楽しみにしている為、マナー・指先・姿勢の保持など指導しやすくてありがたかった。
 - ・子どもに合わせた椅子を来年度替えることありがたいです。
- B・今年の栽培はうまくいかず、クッキングも例年よりできなかった。ようやくできた野菜に対し「できてうれしいね。野菜を作るって難しいね」と感謝することができた。
- ・苦手な物を育てることで、食への感謝の気持ちが育つことにより苦手意識が減ったと感じる。
 - ・未満児は何が子どもたちに伝わるか、何を伝えたいか考え、まずは食べることに重点を置いたため、クッキングは行わなかった。
 - ・給食の時間には、調理員の先生や神様への感謝の気持ちを一番に大切にできるように心掛けた。
 - ・給食の先生に「だれが作ったの？・今日もおいしい」など食に興味を持ち、日々の礼拝では「給食がおいしかったです。ありがとう」など感謝の気持を持っている。

（保護者の評価 4点満点中 平均点 C 4.0 B 3.8）

- C・家ではナスが嫌いなのに幼稚園では食べていて安心。
- ・幼稚園のことを聞くと給食の話が出て、毎日好きなものだっていいです。
 - ・給食は美味しいようでとても助かります。メニューも素敵だと思います。
 - ・「いつもおいしいだよ。」と教えてくれます。食の楽しさを体験できていると思います。
 - ・好き嫌いはたくさんありますが、嫌いなものも頑張っ、食べるようになりました。

- B
- ・来年はサツマイモ楽しみにしている。
 - ・サツマイモは不作のようでしたが、いろいろな形で、いろいろな野菜が取れて、楽しいようでした。
 - ・畑は続けてほしいです。
 - ・家庭でも畑をしますが、友だちや先生と一緒にやるのが喜びを大きいようです。
ありがとうございます。
 - ・畑の話をよくしてくれます。心の優しい子どもに育つために重要な環境だと思います。
 - ・土作りからの野菜ができる過程、それを調理して食べる。命あるものへの感謝、作ってくれた方への感謝が学べたと感じられます。
 - ・クッキングやってほしい。
 - ・畑もいいが、遊びの時間も大切にしてほしい。
 - ・サツマイモが不作でも作った芋にこだわらず、持ち寄るなどして焼き芋会を検討してほしい。
 - ・お餅つき、節分がなく子どもが寂しがっていました。

(学校関係者の評価 4点満点中 平均点3.6)

- ・アレルギーや好き嫌いに対し日々給食がよく考えられている。
- ・楽しく美味しい給食がありがたいの気持ちをはぐくみます。
- ・畑の都合上、収穫が少なかったと思うが、自分たちで育てた野菜で行うクッキングなどで、食に関心が持てた。

.....>.....>.....>

◆改善の具体的

- ・クッキングは、野菜の不作とアレルギーの園児の増加により給食の先生の負担が増えたため、慎重に計画し実施しています。回数は減っていますが、大切に行っています。
- ・天候の不順が続いた為、野菜の不作が目立ちました。畑のねらいを検討し直し、計画的に遊びこむ時間と畑仕事の時間のバランスをとれるよう計画していきます。
- ・焼き芋会は芋が取れず、又、お餅つきはうすが老朽化しており使用できませんでした。
また、保健所より衛生上の指摘もいただいています。感謝祭頃からクリスマス会にかけて忙しい時期と重なったこともあり、子どもの遊びこむ時間が減っていたため実施しませんでした。
保護者の希望もあるので、次年度はねらいを再検討し実行をつめていきます。
- ・節分は、教師間でねらいを確認し、丁寧に次年度の行い方を検討していきます。

8 家庭との連携

◆2019年度の取り組み

- ・クラスや子どもの様子、自分の考え方、保育のポイントなどをクラスだより等で知らせ理解を得る。
- ・幼稚園はクラスや子どもの様子や保育のポイントなどを日々の会話やクラスだより、電話、ホームページ等で分かりやすく知らせていると思いますか。（保護者アンケートQ8）

◆評価と分析

（教師の評価 4点満点中 平均点2.6）

- ・全体的に少しのトラブル（怪我、体調不良）でも電話ですぐ伝えられるようになってきている。
- ・朝の受け入れの際、子どもの様子と保護者の方の不安がないか感じ取り、安心して一日のスタートできるよう対応している。
- ・クラスだよりは、園長が確認しているため、訂正していただきながらよりよいお便りになっていると思う。
- ・未満児では毎日の連絡帳を活用し、その日の様子を伝えていくことができた。
- ・親の立場に自分を置き換え考えることを心掛けたい。
- ・預かりの子どもが増え、お迎えの時間に保護者の方に会うようにしたり、電話にて連絡することで信頼関係を築けるようにしていきたい。
- ・お迎え時に一日の様子を伝え、一か月に一回はこまめに時間を確保しお話しすることができた。

（保護者の評価 4点満点中 平均点3.7）

- ・毎週のクラスだより、想像して読んで楽しんでいます。
日々の悩み事に向き合っていただきありがとうございます。
- ・子どもの活動内容、様子はもう少し会話として聞けたらいい。
- ・先生によっては、子どもの様子を話してくれるが、そうでない先生もいる。
- ・連絡帳やバスの利用時などにいろいろ伝えてもらったので、安心して送り出すことができました。
- ・預かりの時に何をやっているのか、少しお話してもらえると助かります。
- ・クラスだより大好きで楽しみです。言葉少ない子なので、様子が聞けて嬉しいです。
- ・育児に対する相談やポイントもわかりやすいです。

- 1・ホームページの更新日を知りたい。
- 2・インフルエンザの情報を提供してほしい。
- 3・今年のバザーのように園長先生のお話をみんなで聞く機会を作ってほしい。
- 4・思い出会のビデオを販売してほしい。（見られなくて悲しいご家族がいる）
- 5・降園時もう少し先生とお話ができるようにしてほしい。
- 6・学校評価アンケートの結果を知りたい。
- 7・我が子に対する個別対応についてまた、嬉しいことなどノートでもいいので教えてほしかった。
- 8・お便りが締め切りまで余裕がないことがあり、困りました。

(学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3.4)

- ・日々の小さな積み重ねが、誠実であり、保護者に信頼してもらえる園で、感謝です。
- ・悩み事などを言った時真剣に向き合ってくれる先生がいてとても助かる事だと思う。
こういう事の積み重ねが家庭との連携を強くすると思う。
- ・教師と保護者との連絡はよくなされていると思う。評価にあった子どもの様子をもう少し話していく点について、改善できれば良い。

.....➤.....➤.....➤

◆改善の具体的方策

- 1・ホームページの更新日は確定していません。定期的にチェックのご協力をお願いします。
- 2・冬の感染症は、今年度のように情報提供を提供できるよう検討します。
- 3・機会を持てるよう検討します。
- 4・思い出会のDVDは、事務室にあります。貸出も可能ですので、ぜひお声をかけてください。
- 5・降園時、担任又は副担任がまいります。保育者も保護者のみなさんとお話できる貴重な時間として認識しておりますので、ぜひ気軽に声をお掛け下さい。また、お預かりの時間では降園時間に幅があり、担任が不在の場合もございます。しかし、
- 6・学校評価アンケートの結果は、ホームページ上の学校評価にて確認できます。
- 7・個別の子どもの様子については、教師間でも確認しました。お伝えしていけるようにしていきます。
保護者の方からもぜひ、連絡ノートを使い積極的に担任に声掛けいただくとありがたいです。
- 8・お便りは週末をはさんで提出できるように配っていますが、ご意見もありましたので、十分気を付けます。

9 子育ての支援

◆2019年度の取り組み

- ・未就園児への園開放や預かり保育などを通して子育ての支援をする。
- ・幼稚園は子育ての支援をしていると思いますか？
(お預かり保育、夏のお預かり、未就園児の園開放、子育て支援) (保護者アンケートQ9)

◆評価と分析

(教師の評価 4点満点中 平均点 2.8)

- ・こひつじ広場に来てくれる子どもの人数が毎回まちまちで、準備した内容が思うようにうまくいかなかったこともあった。子育て世代包括支援センター松沢先生に来ていただき、情報を共有することができた。来年度は人数把握したいと願う。
- ・子育て相談について、自分の力不足を感じる。
キリスト教保育を基本に温かいまなざしをもって、学びを深めたい。
- ・預かり保育だけでなく、園児の保護者からの相談にもできるだけ応じたい。
- ・副担と情報を共有しながら、保護者の方の不安に向き合った。
- ・預かりについてはもう少し保護者の方との連携も必要だと感じている。
- ・園開放の際、もっと積極的に保護者の方とコミュニケーションをとりたい。
- ・5歳児発達相談や懇談会を通し、普段知ることのできない保護者の悩みを知ることができた。
子どもの発達の理解や支援方法についてもっと深く学び、子育て支援ができるようにしていきたい。

(保護者の評価 4点満点中 平均点 3.7)

- ・申し訳ない位助かっています。突然の変更も快く対応していただき感謝です。
- ・小学校の参観日の時、預かりを快く受けいただきありがたい。
- ・お預かりのおやつがいろいろな工夫があり助かりました。
- ・異年齢交流が楽しいようですが、お預かりの時間のねらいを知りたい。
- ・お預かりの帰り時間、もう少し幅がほしい。
- ・情報を聞けば教えてくれるが皆が分かるような情報公開をしていないように思う。
- ・4月の新入園慣らし保育の期間だけは午後の預かりに悩みました。
(共働き・フルタイム核家族は、ふつう保育園に行かせると思うので、我が家の問題ですね。)

(学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3.6)

- ・預かり保育が充実してきていると思う。
- ・預かり保育では柔軟に対応してくれて助かる、又、未満児の預かりも対応がいいと思う。
- ・こひつじ広場や、お預かり保育が喜ばれているようですが、課題もあるようで大変ですね。

.....>.....>.....>

◆改善の具体的方策

- ・お預かりは教育時間ではないため「異年齢で楽しむこと」をねらいとし、毎日同じ流れで生活しています。お迎えの時間が指定になります。が、ご都合がある場合、ぜひご相談ください。
- ・ご苦労の中、大町幼稚園を選んでいただき、ありがとうございます。日々のお預かりでも、時間変更などこまめに連絡を頂き、感謝しています。

10 幼稚園運営

◆2019年度の取り組み

- A・日々の保育記録・教材準備・連絡帳の記入・環境整備・事務などの効率化を図る。
- B・年間計画・月案・週案・日案等を通して、計画的に保育に当たる。

◆評価と分析

A（教師の評価 4点満点中 平均点3.0）

- ・副担だったため、書類はなかったがクラスの掃除環境を整えるなど自分のできることを精一杯果たすことができた。
- ・子どもにとって適切な教材選びや環境の作り方をもっと学ぶ必要があると感じる。
- ・主任に毎週日誌と週案を確認していただき、その一言にいつも勉強させていただいています。
- ・まだまだ効率化のできるところがあるかもしれないが、全体を見通していくことで丁寧に対応して行けたと思う。
- ・保育記録をためることなく取り組むことができた。

B（教師の評価 4点満点中 平均点2.0）

- ・長期的な計画ではなく、行き当たりばったりになってしまうことがあるので、しっかり計画を立て、十分準備をして保育に当たりたい。
- ・月案・年間計画も含めた週案日案になっていなかったと感じます。
- ・計画的の部分では、流れに任せて動いていたところがある。
- ・計画を立て、それに向かって保育することはできなかった。一年間の子どもの様子を見、どのような目標を設定し、そのためにどのような計画が必要なのかわかってきたので次年度活かしていきたい。
- ・職員会では、一か月先の予定まで確認し各担当が動けるようにしてきた。行事の反省を必ず取り入れるようにした。
- ・焼き芋会・お餅つき・節分に関しては来年度丁寧に進めたい。
- ・行事の直前にバタバタ取り掛からず、日々の活動を通して動きを取り入れるようにしてほしい。

（保護者の評価 保護者の評価項目の対象外）

（学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3.6）

- ・来年度の新園舎活動が始まるので、より一層質の良い園運営がなされますように。
- ・思い出会縮小への動きなどしっかり考えられていていいと思う。今回のコロナなど感染症への対応を反省点なども踏まえマニュアルになるといいと思う。
- ・必要に応じて、臨機応変に対応でき良いのですが、行き当たりばったりにならないよう先生方で共有していけますように。その年その年でやり方が変わってもいいと思います。その中で、変わらないものが守られて、大町幼稚園の希望が受け継がれていきますように。子どもたちと先生方の瞳の輝きが守られますように。

.....➤.....➤.....➤

◆改善の具体的方策

- ・書類を記入することで長期的視野を持ち、疑問点を確認しながら、日々、努力していきたい。
- ・学校関係者の方の「その年その年でやり方が変わってもいいと思います。その中で、変わらないものが守られて、大町幼稚園の希望が受け継がれていきますように。子どもたちと先生方の瞳の輝きが守られますように。」を大切に次年度新園舎での新しい保育をみんなで考えていきたい。